



# 図書館 めくるくん通信

図書館 ☎69・3706

## 図書館へ行こう

### ◆ちょっと教えて！（レファレンス）

情報や本などを探すお手伝いサービス“レファレンス”。お気軽にご利用ください。

**Q. 大寒や初春など暦の上での季節の言葉がわかる本はある？**

**A. こちらはいかがですか。二十四節気・七十二候の和暦の言葉の意味を軸に、旬のものや風習など、一年の魅力が情緒たっぷり紹介されています。**

『二十四節気と七十二候の季節手帖』  
山下景子／著  
成美堂出版



## 図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。  
一部をご紹介します♪



『継続捜査ゼミ』  
今野 敏／著 講談社

『リーチ先生』  
原田マハ／著 集英社

『おばさんの金棒』  
室井 滋／著 毎日出版社



『誰も知らない世界のことわざ』  
エラ フランシル サンダース／著 創元社



『アルミホイル超楽レシピ』  
浅野曜子／監修 日東書院本社  
『カスタードのおやつ』  
森崎繭香／著 誠文堂新光社



『クレイジートリップ』  
ケロッピー前田／著 三オブックス



『キブミー睡眠』  
くりこ／著 KADOKAWA

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

## 貴重なサメがやってきた！

### ■保育園児の貴重サメ

幡豆の漁師さんから「珍しいサメが取れたぞ」ということで水族館にサメがやってきました。種類は「イタチザメ」というサメで、全国の水族館でも展示はほとんどない貴重なサメでした。大きくなると6メートルにもなる人食いザメですが、やってきたのは60センチほどの保育園児サイズ。見るなり飼育員一同は一気に興奮。どこの水槽に入れようか、状態はいいのかわかるのか、エサは何を食べる

### ■飼育が難しいサメ

イタチザメは過去に数回、竹島水族館にやってきたことがあるのですが、いずれも状態が悪かったりして数日で死んでいました。難点はエサを食べない事でした。自然の海では海鳥やウミガメ、時には人間も食べちゃうような猛な人食いザメの部類に入るのでありますが、飼育下では途端にやる気がなくなりフラフラして死んでしまいます。エサさえ食べれば元気が出るはず



# 水族館



館長 小林龍二

竹島水族館  
☎68・2059

### ■逃げる！サバ一郎

展示する水槽は館内一番奥の「三河湾大水槽」に決まりました。「大水槽」といっても我が弱小水族館の大水槽なので、他の水族館から見たら「小水槽」なのですがとにかく竹島水族館では一番いい水槽です。この水槽には、以前釣ってきた100匹のサバが泳いでいます。うーん、サバを食べちゃうよね。でもそんなこと言ったら釣ったサバ、カワイイのだよ。サバ一郎、サバ二郎、サバ子！みんな逃げるんだよ、食べられるんじゃないよ、などの飼育員間のやりとりがありました。投入されたイタチザメはサバを食わず、数日後に飼育員の手からアシカの残した

### ■成長と減少

その後、イタチザメはどんどんエサを食べ倍ほどの大きさになりました。しかし、成長につれてサバが夜な夜な少なくなっていきました。100匹のサバは10匹に。弱肉強食。運命とはいえない。11月現在でイタチザメが見られる水族館は全国で竹島水族館と鳥羽水族館のみです。人食いザメなので「ヘマをしたらイタチザメのエサにするぞ」と脅しながら後輩たちに日々の仕事をさせています。……